

(様式第1号)

令和3年度 第1回芦屋市放課後子どもプラン運営委員会 会議録

日 時	令和3年7月19日(月) 14:00~15:45
場 所	芦屋市役所教育委員会室
出席者	委員長 酒井 達哉 副委員長 柳生 加代子 委員 吉野 哲夫 委員 金本 ひとみ 委員 伊東 典子 委員 小西 絵理香 委員 中田 伊都子 委員 木下 新吾
欠席者	委員 高橋 孝子 委員 加藤 充子
事務局	社会教育部長 中西 勉 生涯学習課長 岩本 和加子 生涯学習課課長補佐 中寫 健太 生涯学習課管理係 海士部 香苗 青少年育成課長 富田 泰起 青少年育成課係長 山内 健 青少年育成課主査 上田 裕之
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状及び任命書の交付(事前に、机上に配布済み)
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 委員自己紹介, 事務局職員自己紹介
- (5) 委員長, 副委員長の選出
委員長1名・副委員長1名
- (6) 議題
放課後子どもプラン事業概要について
(ア) 令和2年度放課後プラン利用状況等について
(イ) 令和3年度の取組みについて
(ウ) その他
- (7) 閉会

2 提出資料

- ・ 放課後プラン事業及び校庭開放事業について【資料1】
- ・ あしやキッズスクエアについて【資料2】
- ・ 令和3年度の取組みについて【資料3】
- ・ 委員名簿
- ・ 芦屋市附属機関等の設置等に関する指針（参考1）
- ・ 芦屋市放課後プラン（子ども教室型放課後対策）事業実施要綱（参考2）
- ・ 地域と学校の連携・協働体制構築事業実施要領（参考3）

3 内容

委員長・副委員長選出まで岩本課長により進行

<酒井委員長>

議事に入る前に、放課後プランの概要について、生涯学習課より説明をお願いします。

<事務局：海士部>

はじめに、この運営委員会の役割につきましては、特に事業の推進に関することや、事業における安全管理対策について、委員の皆様にご意見いただきたく思っております。

事業によってそれぞれ担当課が異なりますので、まず生涯学習課からは、芦屋市の放課後プラン事業全体の概要と校庭開放事業について、青少年育成課からはあしやキッズスクエア事業についてお話をさせていただきます。

また、各事業の質問につきましては、後ほどまとめて受け付けさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、芦屋市放課後プラン事業について、説明させていただきます。

（配布資料：【資料1】に基づき、放課後プラン事業概要について説明）

<酒井委員長>

引き続き、議事に入ります。令和2年度放課後プラン利用状況についてですが、まず、校庭開放事業について、生涯学習課より説明をお願いします。

<事務局：海士部>

（配布資料：【資料1】に基づき説明）

<酒井委員長>

続きましてキッズスクエア事業概要及び実施状況について、青少年育成課よりお願い致します。

<事務局：上田>

(配布資料：【資料2】に基づき説明)

<酒井委員長>

ありがとうございました。

ここまでのところで、ご質問等受け付けたいと思います。

<酒井委員長>

キッズスクエアのほうで特に学校行事などマスクの屋外使用について現在各学校非常に難しい状況にあると思いますが、子どもたちは実際どのような状況でしょうか。

マスクをつけている子、つけてない子とかどうでしょうか。

<事務局：上田>

本市キッズスクエアのホームページにもお知らせを掲載し保護者の方への周知徹底を図っているところです。基本、子ども達にとり学校とキッズスクエアでの状況が変わらないように気をつけております。キッズスクエアと学校との指導が異なりますと例えば子どもが次の日学校に行ったときにキッズスクエアではこれでよかったからと学校のルールが乱れてしまうことを私達は危惧するからです。マスクの着用についても情報は学校教育課からいただいておりますので、連動する形で対応しております。

現在、外では自分でマスクを外すことが自由にできるかたち、子どもがマスクを着けていたい場合はつけていてもいいようになっております。ただ息苦しくみえる子どもがいればはずしたほうがいいよと声掛けもしています。マスクを外して遊ぶ時も密にならなければ、許可しています。

<酒井委員長>

報道にあるように非常に難しい取り扱いで、特に登下校に関しても、もうマスク外しても良いと言っても子ども達が、このあたりではマスクをしている子が多いので、なかなか学校の指導が児童に伝わるのが難しいと聞かせていただきました。

これからは特に熱中症もございますし、ご配慮お願い致します。

他、ご質問ご意見はありますか。

<伊東委員>

対象児童が市内の小学校の子ども達ということですが、例えば私立の子ども達は登録をされていますか。

<事務局：上田>

コロナ前では20名程度登録されていました。私立の子ども達は電車通学もされているので、今現在、コロナを外から持ち込まないことを学校が配慮している中、私立の子ども達に積極的にどんどん来てくださると言いかねるところも正直あります。ただ今日も夏休みだけ利用したいということで私立の方が来られています。現在は、市外の小学生は全体で2～3名程度ですが多い時には20名程度の小学生が多岐にわたる学校の方たちが利用されていました。

現在は、それぞれの学校にご案内はできておりませんので口コミだけになっております。

コロナが落ち着きましたら、芦屋にはたくさんの私立の子ども達がいらっしゃいますので、その方たちにも届くように広報で周知する方法について考え、可能なことをおこなっていきたいと思っております。

私立の方から自分の希望の私立校に行けて良かったが、学校が終わった後に、地域の中で遊ぶ人を見つけることが難しく、キッズスクエアがあって良かったとの声をお聞きしましたので努力はしたいと思っております。特に私立の方は地域のスタッフと知り合う機会も少ないですので、逆にそういった地域とのかかわりが形成しにくい子どもこそ地域の方と知り合っていていただいて色々なコミュニティとの繋がりが盛んになることができると思っておりますが、今は少し控えさせていただいております。

<中田委員>

キッズのスタッフの方がいらっしゃるのでお伺いしたいのですが、朝日ヶ丘小学校でいらない用紙等をプレゼントしました。マネージャーの方が、日々の高価なおもちゃはたくさんあるけどもこういった筆記用具なんかをもっと欲しいとおっしゃっていました。

ほかのところも、そう思われているのかもしれませんが。

クレヨンや裏紙等がすごく足りないと聞いていますがどうですか。

<柳生副委員長>

コロナになって使用した紙の裏紙など、出どころが不明のもの、コロナウイルスの感染の可能性のあるものを持ち込まれるというのは、心配なところです。しかし子どもたちは、いろんな遊びや塗り絵なんかもしています。また製作に必要な素材は、スタッフが自宅で箱を集めておいて出来るだけ清潔なものを持ってきてくださり使います。使う前に子ども達は手洗い消毒をして、終わった後も手洗い消毒を徹底しています。さらに作ったものになるべく持ち帰るといったことも気を付けながらやっています。今は、裏紙等スタッフが持ってきたものを使っていますが、いろいろなものを持ち込まれるということへの心配はありますので、感染予防を徹底し、実施していきたいと思います。

ただ、1枚1枚消毒するわけにもいかないですし、それを使う前後に手洗い消毒をするようにして、声をかけたりしながら活動をさせてはいます。

<小西委員>

精道小学校も同じような感じで裏紙があるときはみんな喜んで工作をして、なくなるときは一気になくなっていくので、あればあるほど助かりますが、おっしゃったようにその辺り今難しいと思います。いただいているものは喜んで使わせていただいています。

<中田委員>

市からの購入予算の中に用紙等を含めませんか。

<事務局：上田>

用紙等をご用意してあります。

<中田>

クレヨン等もですか。

<事務局：上田>

色鉛筆はあります。ただお声が上がってきていないので、消耗品は、いつなくなったのかこちらではわからないので、基本スタッフの方には必要なものは書いてくださいということで注文用紙を渡しているのですが、注文がきていないものがあつたのかもしれませんが、こちらとして希望したもののほとんどは必要と判断できるものですので、購入してお渡ししている状況です。基本高価なものは予算内で買える物、買えない物がありますが、ただ折紙は購入していません。自由に使えるようにしてしまうと子ども達が乱雑になり、多くの紙を必要以上に使うことがあるので折り紙についてはご家庭から持ってきてもらうようお願いしています。自由にしているものと自由にしてしまうと逆に子ども達にとって好ましくないものとなってしまうものがありますのでバランスをとっています。色鉛筆などが不足しており、こちらが把握していないのであれば、確認して早急にストックもあるので取り揃えます。

<中田委員>

購入してもらえないと思いました。

<事務局：上田>

キッズスクエアの活動をどのように行っていくかは、基本子ども達が主体的に過ごせることとして、スタッフの方が判断しているところもあります。今日も、あるキッズスクエアから子どもに夏休みテレビを見せたいとの相談があり、そんなの絶対ダメと言われると思っていたと言われました。DVDは8時間9時間あるので、ずっとつけっぱなしはダメだけど子どもたちが見たいDVDがあれば8時間のうち1時間

2時間見ても悪いものではない。逆に今年は体験プログラムをご用意していないので、そこはDVD等を活用していただいて、ただスタッフの方とのコミュニケーション不足もあるので、その部分については早急に対処していきたいと思っています

<酒井委員長>

他にはいかがでしょうか。

<木下委員>

子ども達も学校と同じルールに従っているが大人達の方にも、今日も保護者の方へ通知を出しました。家族にPCR検査を受けた方がいたら、参加を見合わせるようにしましょうと。職員も同じようなトーンで対策を行う。そこはよろしいですね。

<事務局：上田>

そうですね。スタッフのコロナウイルス感染症対策についてですが、現在キッズスクエアではマネージャー1名、安全管理員2名、基本1年生がいる所は安全管理員を3名にしてもらっていましたが、コロナウイルスに感染した可能性がある場合はやむなく3名にできない場合も致し方ないと言っています。3名来ていただきたいですが、急に体調が悪くなった場合やご家族の方がPCR検査で問題があった場合は、遠慮せず休むよう指示しています。

3名揃うことは大事なことです。コロナを持ち込まれるのであれば、もちろん欠員が出た分の1名を急遽頼みますが、緊急措置的に2名になってしまっても感染の可能性があることと比較した場合それは仕方ないと、私が行くことも含めてですが、何が一番大事かについては、スタッフの方にはお伝えはしているつもりですので、スタッフの方は使命感があると思うので、その使命感が悪い方向に行かないようにするのが非常に大事だと思います。

コミュニケーション不足にならないようにお伝えしています。

<木下委員>

あまり言い過ぎると、そこは難しいところがあります。疑いがあるから気をつけましょうというような感じで職員にも保護者の方にも理解を得ることにしています。

<事務局：上田>

例えばケースとしまして、あるキッズスクエアのスタッフの方で、子どもが遠方で寮生活をしている。そこでPCR検査で陽性の方が出たので子どもさんは陽性ではないが、私も何日か前に子どもと会ったから休んだほうがいいですかと質問をされた場合、基本自己判断となります。このような場合、私の方からこの方は来てください。来なくていいです

とは言うことはできませんので、自己判断で無理のないように決めていただくようにしています。そういうご相談をいただくことはあります。体調が悪い方はやめておいてくださいとお話ししますし、濃厚接触者ではなく大丈夫な方についてはご自分の判断で決めていただいていると常にお話させていただいています。

<酒井委員長>

コロナか風邪の初期症状か曖昧な部分があって、例えば体調不良というのは、こういうケースがコロナの可能性があると明記して、それぞれアドバイスされた方がよいかもかもしれませんね。

案外認識の差があるということなので、協力してお願いいたします。

<中田委員>

去年のアンケートの時に書いたと思いますが、キッズスクエアの募集要項案内が細かくて分かりづらいと思ったので、それを保護者の方にお伺いしたら、やはり細かくて読み切れないということをおっしゃっていたので、来年度の募集要項は少し検討していただきたいことと一部の人だけが作るのではなくて、過大な内容は読みづらいので、複数の人で内容確認していただきたいと思います。

<事務局：上田>

前回の委員会の後にいただいた添削書類は可能な限り全て書き換えさせていただいています。ただ役所としては、保護者対応のこともありますので明記しておくことは明記しておかなければいけないところがございます。といいますのはキッズスクエアを保護者の方が誤解されて学童保育のように思われてこられてしまうと、スタッフの方が一番困られるというケースが正直ありますので書面だけではなく青少年育成課全職員にマニュアルを作り、窓口・電話対応で、これだけは絶対に伝えてくださいということは必ず口頭でもお伝えして、保護者の皆様に納得していただいています。

特に1年生の保護者の方には幼稚園・保育園において、保護者の方も責任を持ってくださいという事業形態ではなく、子どもさんはしっかりこちらでお預かりしますという形態のものに参加してこられているので、キッズスクエアは今まで参加されていたものと異なる形態のものであると思います。ルールや自己責任があるという部分についてはしっかりご理解をいただきながら、皆様がおっしゃる通り読みやすいものになるよう可能な部分は努力します。

<柳生副委員長>

最近、浜風小学校は、外国ルーツの子ども達が結構参加するようになってきていて、保護者の方どちらかの方が日本人の方でちゃんと読めればいいですけども、そうでない場

合が多々あるように思います。その方たちへの外国語のサポートは何か考えられていますか。

<事務局：上田>

アシヤニュースレターを2年前に作成しまして、こちらの方に英語版でキッズスクエアの概要を掲載させていただいています。

これも外国にルーツのある方の学校の先生方にできるだけお配りくださいとお願いしています。ただ全員に行きわたっているわけではないのでホームページの一番上の欄に英語版という形で貼り付けるようにもしています。出来るだけ多言語での掲載が大事ですが、海外で生活される方には英語を理解されている方が非常に多いので、まずは英語版と中南米が多いので、スペイン語版も作成できないかも考えていきたいと思っております。

英語版の申込フォームにつきましても、今後視野に入れていきたいと思っております。

<酒井委員長>

先程も中田委員もおっしゃいましたけども、やはり文章が長いと読みません。

いろんなところで取り組んでいるところですけど、最近では行政文書においても概要版と資料版というのがあります。概要版はリーフレットの形で多くても4ページくらいにビジュアル的な内容をいれたら、興味解釈がさらに深くなるので、そういうことも大事かと思えます。今日の資料においても数字の羅列で、これは資料版であって、パッと見てわかるグラフ化する形でより理解をしていただくための概要版と資料版とそのような発想もこれからこのすばらしい取り組みを上げていくには、大切な工夫かもしれませんね。

他いかがでしょうか。

<小西委員>

精道小学校は外国の方は少ないですけど精道キッズスクエアに申し込みに来られたら、保護者の方に10項目ぐらいお伝えすることがあります。例えば外国ルーツの多い地域の方で、申し込みに直接来られた方には先ほどの英語版を提示されるということですね。

<事務局：上田>

はい英語版をお渡しするようにしています。例えばキッズスクエアも学校に認知していただけるようになりましたので、担任の先生とか語学の担当の先生から案内を送ってくださいと依頼もありますので、先日もお送りさせていただきました。私も昔海外青年協力隊に参加し情報弱者になったことがあるので、情報弱者の方にできるだけ声やお気持ちが届くようにさせていただきたいと思っています。まだまだ力不足ですが広く行きわたるように学校の先生方のご協力をいただきながら、できるだけ丁寧に情報をお届けし、スケジュールに余裕をもって心配りをできるようにしていきたいと思っています

<木下課長>

校庭開放の時、子ども達は何していますか。

<事務局：海士部>

キャッチボール・サッカー・砂場・鉄棒・なわとび・ドッチボール等です。

<木下課長>

公園とかでボール遊び出来ないというお困りの声が返って来たりするので、こういうところで遊んだらいいのにと素朴に思いました。

<小西委員>

精道小学校もかなり利用が少ないと思います。市の昨年の会議に参加させていただいて聞いていると思いますが、校庭開放については市内に住所を有する幼児及び児童中学生を含むということで、中学生も対象になることを知りました。子ども達はサッカーボールを蹴ると地域の方に注意を受けることがあり、本当に自由に遊べていません。公園でボール遊びができないので、是非この校庭開放をそういった場にしていただきたい。学校から、分かりやすいアナウンスができれば、もっと利用者が増えて、子どもたちが利用すると思います。

そういった告知方法などは何か考えていらっしゃいますか。

<事務局：海士部>

お配りした資料1の3ページが今の校庭開放の実施状況です。

去年はコロナもあって6月から始まってそれまでは校庭開放中止していたので、比較的人数が少なく、資料3で令和3年度各学校の校庭開放実施表があります。

資料1と資料3を見ていただいて、昨年潮見コミスクはスポーツが盛んで代表の方が校庭開放の利用人数が少ないのであれば、是非コミスクのスポーツクラブでグラウンドを使わせてほしいとご要望があったので令和3年度から潮見小学校は校庭開放を月2回に減らしました。各学校によってグラウンドの使い方は違って、宮川小学校は資料1の3ページを見たら利用人数コロナ渦であっても190人利用しています。朝日ヶ丘小学校は利用が少ないです。浜風小学校は毎週実施だけあって利用人数168名と多いです。

山手小学校が校庭開放なくなったのは山の方まで行くのが不便で利用人数が少なかったため、校庭開放がなくなった経緯があります。コミスクの連絡協議会が年に4回ありますが、第4回連絡協議会の中で、校庭開放のグラウンドの利用状況を委員会で検討してくださいとあまり有効に活用できていないのではないかとご指摘がありました。

<小西委員>

浜風小学校は人数が多いですけれども平均人数を見ると校庭開放を知っている子だけ、リピーターで利用している印象を受けるので、私も実際子どもがいて学校からお手紙をもらってきていますが、中央公園は時間外だと自由に遊べる時間がありますが、校庭開放の日時にボールを持って自由に遊べる場所が無いと思込んでしまっている状態なので、先程のように潮見小学校がコミスクで使いたいから回数が減るというのは有効活用という点ではコミスクに有効活用していただけているようでしたらいいですけど、開放されている期間があるのであればシルバーさんにも入っていただいて子どもたちに周知していただきたい。

遊びたいけど遊べない子ども達がいると思います。口コミで知っている子だけが来ているような状態なので、何か知ってもらえるいい方法があるのであれば、お願いします。

<酒井委員長>

令和3年度の取り組みについて、生涯学習課よりお願いいたします。

<海士部>

(配布資料：【資料3】に基づき説明)

<酒井委員長>

令和3年度についてご質問はありませんか。

<岩本課長>

ご指摘いただきました校庭開放の周知の件ですが事務局の方でももっと利用していただける方法がないものか頭を悩ませているところがございます。皆さんおっしゃいますように公園ではボール投げも難しいですし、走り回るのもぶつかる危険もあります。

校庭開放では、比較的かけっこをしている人やキャッチボール、サッカーをしているひとが多いです。なかなか公園ではできないことを存分にやってもらっているというところでは、周知の方法につきましては、ホームページには各学校の利用回数を掲載しております。学期ごとの利用スケジュールが学校ごとに違うので、毎学期各小学校児童全員にチラシ配布とポスターの大きさにしたものを各学校2枚ずつお配りして、見やすいところに掲示していただくというようなことも行っているところです。

あと何か更なる発信が出来ないかというところでミマモルメ（メール連絡網アプリ）もありますが、そこは以前検討しましたが難しく、この校庭開放にこられているお子さんをご指摘通りリピーターが多いので、利用したことがないお子様にどうやって利用していただくことができるか、皆様からご意見を頂戴いただけたらありがたいと思っておるところでございます。

<酒井委員長>

特に校庭開放におきまして、いいアイデアはございませんか。

<中田委員>

ミマモルメで難しかった点はなんだったのでしょうか。

<岩本課長>

キッズスクエアの方でもミマモルメを利用できないようです。

<事務局：上田>

キッズスクエアの方でもミマモルメを利用してはどうかという話が当初ありましたが、ミマモルメを利用しますと保護者の方にミマモルメは基本学校の持っているメールですの
で発信することによって校庭開放のことを精道小学校に電話しようと担当ではない先生に
直接何時にやっていますかみたいな話になってしまうところもあって難しいところです。

<木下委員>

ミマモルメは学校の緊急連絡ツールなので警報が出たから今から帰宅させますとかそう
いったところで使うもので、大抵は管理職や校長先生か教頭先生が発信しています。

ミマモルメの登録をしていない方もいらっしゃいますので、その方にはやはり担任の先
生が連絡するので、そうなる先生方の業務で、その使い方は難しいです。

<事務局：上田>

一部の保護者だけだと思いますけれども、学校に連絡をすると保護者の方の希望が叶う
のではないかとと思われる方もわずかではありますがおられる場合もありますのでキ
ッズスクエアの要望について学校への連絡は避けていただくなど、この事業で学校に負担
をかけないように配慮するというのが事業を行う上でのキーワードだと思っています。

<酒井委員長>

芦屋の場合は小回りが利くと思うので是非連携して芦屋を盛り上げていただきた
い。令和3年の取り組みについて何かご意見ご要望があれば、お願いします。

<中田委員>

資料3ですが、校庭開放とキッズスクエアの実施日が、混同して分かりづらいです。

<岩本課長>

失礼いたしました。キッズスクエアは平日に実施しております。

<事務局：上田>

感染拡大の可能性が少しでも考えられる体験プログラムについては控えさせて頂いています。すごく悩ましいところで保護者の方からも是非してほしいとご要望もありますが、今コロナで必要なものはさせていただきますが少し落ち着くまでは体験プログラムをしたりしなかったりになっています。居場所づくりをしながら徐々に再開したいと思っています。委員の皆様のご意見も参考にしたいと思っていますがどうでしょうか。

<酒井委員長>

体験プログラムについて、いかがでしょうか。

<伊東委員>

子どもがお世話になったときに、体験プログラム案内を見て子どもたちの間で約束して参加していたので、夏休みはあった方がいいと思います。

見てくださる方が子どもたちをただ見ているだけのようには思います。

<事務局：上田>

山手・朝日・岩園小学校の方は甲南高校生が来て、かなり恵まれた環境にあります。精道・宮川・打出浜・浜風・潮見小学校の方は昨年まではラグビー部の方が宮川小学校と精道小学校に来ていましたが、顧問の先生が変わって、また一から関係性作りをおこなっていきます。

シーサイドの方も国際高校がボランティアをしていただける状況には至っていないため、検討課題です。

<小西委員>

プログラムの件でスタッフとしてご意見させていただきます。プログラムがある方が子ども達も時間を持て余さないのも、すごくありがたいと思っていますが、コロナに対する意識が各家庭や個人差があり、何もわからない状態なので、これなら安全ということが言えないところが難しいと思います。

例えば屋外で安全にできるものがあれば、私達もとてもありがたいですけども室内でも雨でかなりの児童が参加して密になってしまったという状態があって、そういう状況の中、プログラムで外部の方がこられて密になるのは、保護者の方からすると逆に心配になると思います。

コロナの状況を見ながら、プログラムにオンラインでもしていただいているところです。

<事務局：上田>

精道小学校のキッズスクエアというのは専用スペースがクラスの1／3くらいの場所で行っておりコミスク関係者にご協力頂いて、場所をお借りしていますが、部屋は広いとはいいがたい状況です。

潮見小学校はランチルームとか比較的広い部屋をお借りしているなど、キッズスクエアによって状況が異なります。宮川も和室は窓が少なく、換気をして気をつけていますが、保護者の方から納得をいただけないところがあり悩ましいところですが、今、委員の方からやった方がいいというご意見もありますし、スタッフの方からの貴重なご意見ありがとうございます。参考になりました。

<酒井委員長>

Withコロナという状況で、少しずつ無理なくやっていただくのが大切かと思います。それでは最後にご意見がありましたら、どうぞ。

<伊東委員>

キッズスクエアは人数制限ありますか。

<事務局：上田>

ございません。

<伊東委員>

大人数参加があった場合に1部屋ではなく、サブの部屋はありますか。

<事務局：上田>

先程もお話したとおり、各学校の状況が異なりまして、児童数の少ない浜風・朝日ヶ丘はスペースに余裕があり、お願いをさせて頂くと他の部屋も使用できますが、精道でしたら、学校の使用状況もなかなか厳しい状況で、学童保育も部屋が不足してしまっていて、算数教室をお借りしています。場所を提供してもらって、さらに貸していただきはなかなか言えない状況です。

キッズスクエアのいいところは校庭がありますので、熱中症や雨さえなければ外へ出られますので、ただこれから夏になってプログラムするとなると晴れていたらいいですが雨になりますと部屋だけになるので、密になる中でプログラムの方に雨が降っているからプログラムを行いませんとも言えないので、今まで山手では参観日の利用が一番多いので150人近い児童がマックスです。学校児童の1／4ぐらいキッズスクエアを利用されている状況ですけれども、参観日の日は50～60名というのは精道でもあったと思います。

私達は学校にご迷惑をお掛けしない運営を心掛けていますので、なるべく自助努力して

います。緊急事態の時には学校にお願いすることも含めて対応していく必要があると思っております。

<酒井委員長>

ありがとうございました

それでは、第1回放課後子どもプラン運営委員会を閉会します。

閉会